
切り裂かれたドレス

裏音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

切り裂かれたドレス

【Nコード】

N9856G

【作者名】

裏音

【あらすじ】

今の生活から抜け出したい。そのためなら、なんでもする。そう願った貧しい少女。だがその願いの代価は少女を絶望させた。

切り裂かれたドレス

とある国に、貧しい少女がいた。彼女は髪が長く、長い間体を洗えていない。

彼女は毎日泣いた。泣いたって仕方ないのに、泣いた。

「神様…どうか、私をお救い下さい。ただでとは言いません。私にできることなら何でも…！」

少女は祈った。その言葉が、少女自身を破滅へと向かわせることになるなんて、思ってもいなかったから。

ある日。少女は市場へいき、残った野菜などを分けてもらっていた。幸い、市場の人々は優しく、彼女はとても優しく扱ってもらった。

その日は王国から王子が市場視察に来る日。市場の人たちは、あわただしく準備をしていた。

「あ、王子が見えたよ」

子供が声を上げ、周りの人から歓声が上がる。だがあまり問題を起こさないようにする為に、少女はひっそりとその場から立ち去ろうとした。

すると、

「おい、その娘」

「…私、ですか？」

見つかってしまった。少女の顔から、冷や汗が落ちる。

「お前の美しさに惚れた。私の妃となれ」

周りは沈黙に包まれてしまった。当たり前だ。少女のような、貧しい者が、王子に会った瞬間にプロポーズされたのだから。

「お、王子…勝手なことをしては困ります!」
側近の兵が、王子を止めようとする。だが王子は断固として聞き入れない。

「娘、答える。今ここで追放されるか、私の妃となるか」
どう考えても脅しだ。そう思った少女だったが、相手が王子となると何も言えない。そうすると、答えは決まってる。

「…わかりました。王子の妃になりましょう」
少女は王子の妃となり、王女となった。

それから少女の人生は変わった。今まで一日1食しか食べられなかったご飯が、今では一日3食食べることができる。

それに、お風呂に入って、その長い髪を洗うこともできるし、毎日新しい服を切ることができる。

少女は神様に感謝した。祈りが通じたと。

だが神は、少女をせせら笑っていた。

「フフ…おろかな小娘よ。最初に言ったな？ 自分ができることは何でも…とな」

神様の笑いは、少女のこれからの地獄を意味していた。

ある時、少女は舞踏会に参加していた。勿論、王子と共に。

「さあ、踊ろう」

「はい、王子」

二人はその場で誰よりも美しく、誰よりも華麗に舞って見せた。誰もが二人に憧れ、誰もが二人をお似合いだと思った。

だがその幸せは、続かなかった。王子が、司会として皆に挨拶をしている最中、それは起こった。

「皆様、今宵はようこそいらっしゃいました。ではここで、事前にお伝えしていたサプライズを行います」

王子はパチンと指を鳴らした。瞬間、少女のドレスが一気に切り裂かれた。

「っ!!!?!?」

少女は驚きと羞恥に声をあげることもしまならない。

「さあ、夢の時間は終わりだ。現実へと帰るがいい。小娘！」

王子の声が遠くなる。少女は、現実で目が覚めた。

「おや、起きたかい？」

目を開けた先には、近くに住む世話焼きのおばあさん。見渡す限り、そのおばあさんの自宅のようだ。

「ここ…は？ そうだ。私、舞踏会に…」

「舞踏会？ 一体どんな夢を見ていたんだい？ お前さんは、さっき市場で倒れたんで、私がここまで連れてきたんだよ」

市場で倒れた。嘘だ。嘘だ。嘘だ。

「嘘だ！」

全ては、神様の仕組んだ罠。少女は夢の中で、美しいドレス着て、美味しいご飯を食べ、そして舞踏会へ参加した。

そう。全ては、夢。だが、あれだけ長い夢を生きた少女に、いまさら現実を受け入れることはできなかった。

「あは、あははは…嘘だよ。私は、王子と結婚した王女なんだから、そうよ。これから舞踏会があるんだわ…」

少女は幻覚を見始めた。何もかもがおかしくなってしまった。

神様が少女から受け取った代価。それは、少女の絶望。絶望は、最大の余興。神様は余興を見せてもらうのを代価に、少女の願いを叶えた。

少女は壊れた。意識があるのかわからないかわからない。ただ、自分は舞踏会へ、と言い続けている。

夢を見ることは悪いことではない。祈ることは悪いことではない。ただ、夢に浸りすぎると、絶望が強くなってしまふ。

彼女はただ、夢に浸りすぎてしまっただけ。

次に夢に浸るのは、貴方かもしれませんよ？

FIN

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9856g/>

切り裂かれたドレス

2011年1月15日15時07分発行